

島の内 水害対策チャート

質問に対し、YES・NOで進んでください。

Q1. あなたは島の内に住んでいますか？

YES

NO

島の内は、藻川と猪名川に囲まれ、堤防で守られています。堤防が破堤した場合、2階が水没する浸水になる地域があります。

Q2. あなたは堤防の近くに住んでいますか？

YES

NO

堤防の近くは、目の前の堤防が破堤した場合、鉄砲水で家ごと流される危険があります。その破壊力は家ごと300mも押し流された例もあります。

Q3. あなたは尼崎市の洪水ハザードマップ(裏表紙参照)で浸水する地域に住んでいますか？

YES

NO

尼崎市の洪水ハザードマップは、万一破堤した場合、もっとも被害が大きくなる場合を想定しています。破堤してもハザードマップどおりの浸水になると決まったわけではありません。けれども、ハザードマップで浸水地域からはずれているからといって、決して浸水しないわけでもありません。

Q4. あなたの住む地域の浸水は何メートル？(裏表紙参照)

注：浸水は、各家の地上げや建て方によってちがいます。
()内は、あくまで目安です。

堤防の危険箇所は住民でもわかることもあります。(3P参照)日ごろから川の様子、堤防の様子に気をつけましょう。



藻川水制工設置前

島の内がもっとも危険になるのは、巨大な台風が近畿を直撃する場合、特にその前にも降雨があり、猪名川・藻川の水位がすでに高くなっている時です。堤防が危険になるような暴風雨が来る場合、地域に降った雨(内水)で、まず道路が冠水し、浸水被害が出始めると考えられます。



歩けない！

道路が浸水すると、マンホールがはずれて空いた穴や水路が見えなくなり、歩くのは大変危険です。洪水は、夜間に発生することも多く、さらに危険になります。ひざ下(約30cm)まで浸水すると、子どもや高齢者、身障者は歩くことがむずかしくなります。

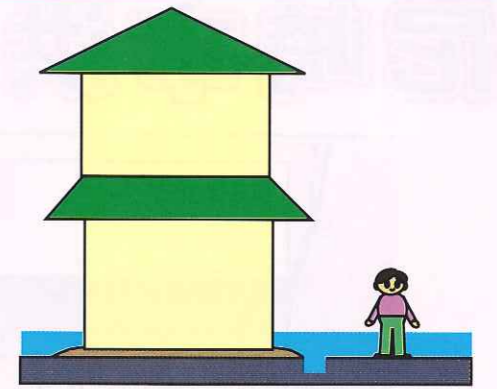


歩けない！

ひざ上(40~50cm)まで浸水すると大人の男性でも、歩行はむずかしくなります。また暴風雨圏に入ると、堤防や橋の上は危険なので、島の内は、周囲の地域から孤立します。避難する必要がある方は、暴風雨が近づく前に移動しましょう。

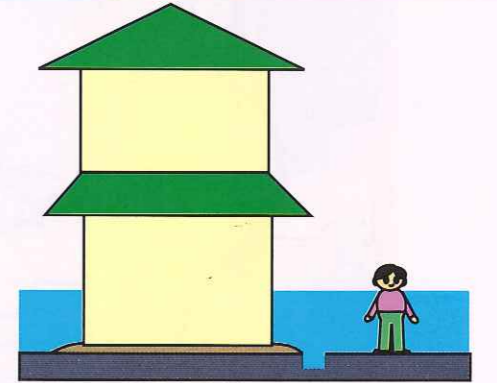
① 0~0.5m(床下浸水)

0.3mの浸水でも、床下浸水になる家もあります。床下ですむなら、避難はしなくてよいでしょう。ただし、島の内全体が浸水した場合、ライフラインが数日間復旧しない可能性があります。数日おきに診療が必要な方(人工透析など)、介護が必要で自立した生活ができない状態の方などは、避難所に移動しておく必要があります。



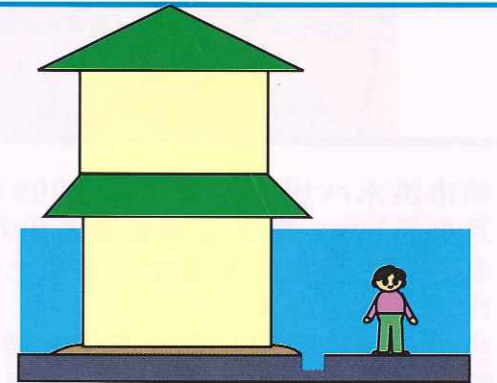
② 0.5~1.0m(床上浸水)

床上浸水でも、2階に避難できる人は、避難をしなくてよいでしょう。ただし、1階で寝たきりの方や2階への移動が困難な方が、浸水により亡くなる例がありました。また2階に避難する場合も、島の内水没によりライフラインが途絶えます。できれば日ごろから、2階で数日暮らしても大丈夫なように食料、薬、水などを備蓄しておきましょう。また、その数日が命に関わる方(①参照)は避難すべきです。



③ 1.0~2.0m(1階水没)

平屋住宅の方は、避難をしなくてはなりません。2階以上に避難できる方も、ライフラインが数日復旧しないことを想定し、日ごろから、2階で数日暮らせるだけの食料、薬、水などを備蓄しておきましょう。また、その数日が命に関わる方(①参照)は避難すべきです。



④ 2.0~3.0m(2階浸水)

3.0m~(2階水没)

2階建てでも、避難しなくてはなりません。堤防が破堤した場合、島の内は多くの方が住宅に取り残される恐れがあります。24時間救助が来られなかったために衰弱して亡くなった方もあります。2階まで浸水すると救助が来るまで持ちこたえられないかもしれません。



尼崎市洪水ハザードマップ



尼崎市洪水ハザードマップ(2009年3月発行)は、国土交通省猪名川河川事務所の浸水想定区域図をもとに作成されています。猪名川流域に昭和28年9月洪水時に降った1日総雨量の2倍の大雨(279mm)が降った場合を想定しています。

「島の内水害マニュアル」は、猪名川と藻川に囲まれた地域に住む方の命と財産を守るお役に立つために「藻川の堤防を考える会」が作成しました。内水で浸かったり、堤防が破堤する危険がある他の地域の方の参考にもなれば幸いです。作成にあたり、国土交通省「平成20年水害レポート2008」猪名川河川事務所「いながわNo.50」同「淀川水系流域委員会猪名川部会資料」近畿地方整備局河川管理課「水防ブック」尼崎市「洪水ハザードマップ河川の洪水に備えて」より画像を使用させていただきました。また快く写真を掲載させていただいた皆様にお礼申し上げます。またお教えくださった猪名川河川事務所、尼崎市下水道部、河港課、防災対策課の担当の方、顧問の今本博健先生(京都大学名誉教授・元淀川水系流域委員会委員長)に感謝申し上げます。

「藻川の堤防を考える会」

編集・発行 2009年5月
藻川の堤防を考える会
事務局: 〒661-0953
尼崎市東園田町4-154-13
TEL&FAX:06-6493-5991